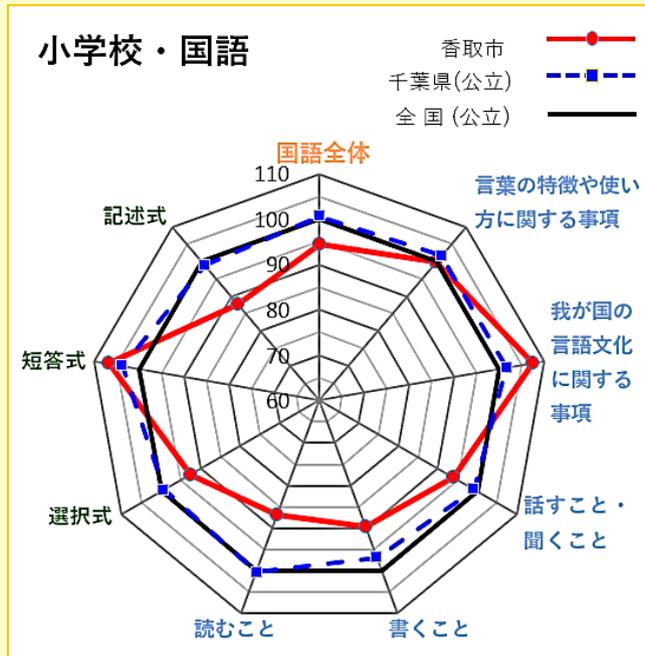


(2) 教科についての傾向と課題

※全国（公立）の平均正答率を 100 として、千葉県（公立）、香取市の平均正答率を相対的に表したグラフです。

小学校の傾向と課題



内容別では、「我が国の言語文化に関する事項」が全国平均を上回りましたが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は全国平均を下回っています。特に「読むこと」では、全国平均を 100 とした場合、香取市が 86.8 となる結果でした。

問題形式別では、「短答式」が全国平均を上回ったものの、「選択式」「記述式」では下回り、課題が見られます。特に「記述式」では、全国平均を 100 とした場合、香取市が 87.7 となる結果でした。

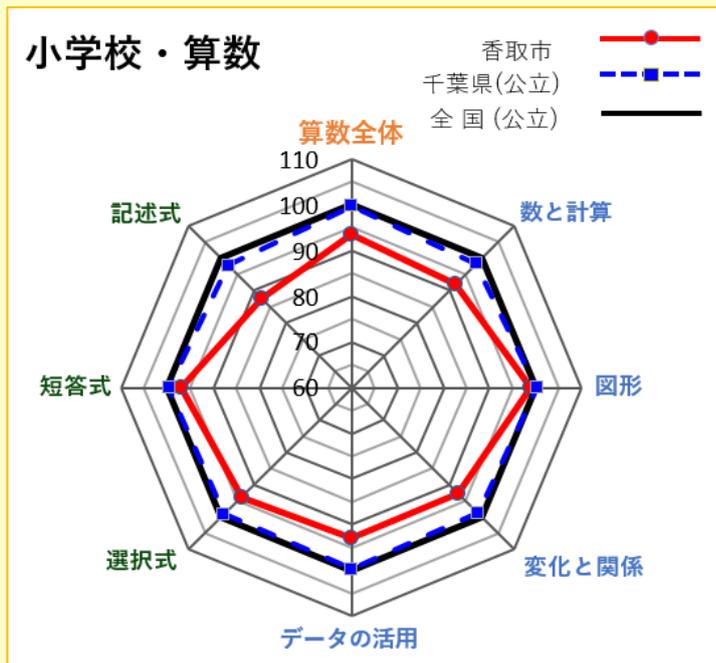
課題が見られた主な問題

● 国語 2 一 (2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する 【読むこと，選択式】 [香取市 60.0% 千葉県(公立)70.8% 全国(公立)70.6%]
● 国語 2 二	物語から伝わってくることを考え，【森田さんの文章】の <input type="text" value="A"/> に入る内容を書く 【読むこと，記述式】 [香取市 61.7% 千葉県(公立)68.5% 全国(公立)68.3%]
● 国語 2 三	【山村さんの文章】の <input type="text" value="B"/> に入る内容として適切なものを選択する 【読むこと，選択式】 [香取市 49.6% 千葉県(公立)59.1% 全国(公立)59.2%]

力を入れたい学習

- 物語全体を通して、相互関係について描かれている複数の描写に着目させるため、物語全文が一枚の用紙に掲載されたシートを活用したり、登場人物を人物相関図に表したりする。
- 物語の全体像を明確にするため、着目した叙述を複数取り上げ、そこから考えられることをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを交流したりする。
- 表現の効果を考えられるようにするため、感動やユーモアを生み出す優れた叙述、暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目し、その効果について話し合う活動を取り入れる。

小学校の傾向と課題



領域別では、「図形」は全国平均と同程度といえますが、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」において全国平均を下回っており、大きな課題となっています。

問題形式別でも、「選択式」「短答式」「記述式」すべてにおいて全国平均を下回っています。特に「記述式」が大きな課題となっており、全国平均を100とした場合、香取市が87.7となる結果でした。

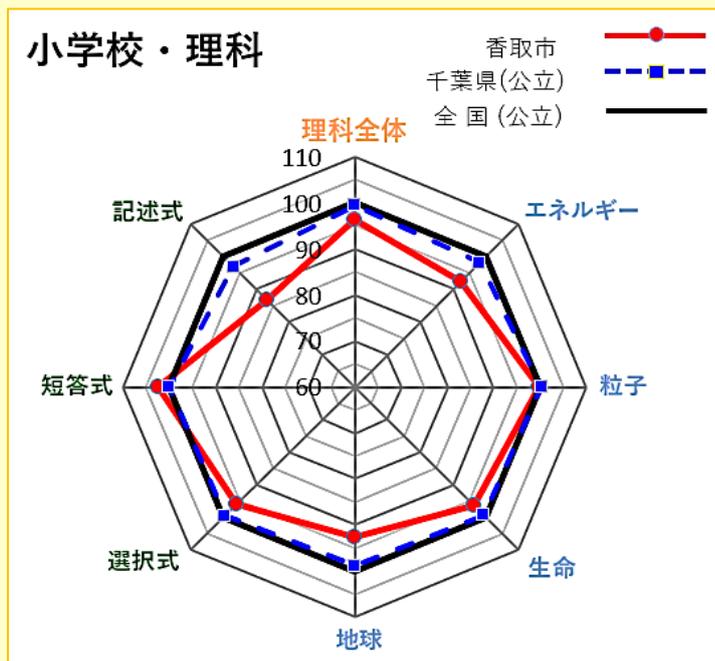
課題が見られた主な問題

● 算数1(3)	カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求められることができるわけを書く 【数と計算, 記述式】 [香取市 68.6% 千葉県(公立)74.0% 全国(公立)76.0%]
● 算数2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く 【変化と関係, 記述式】 [香取市 40.7% 千葉県(公立)46.4% 全国(公立)48.0%]
● 算数3(4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く 【数と計算, 記述式】 [香取市 58.7% 千葉県(公立)66.9% 全国(公立)67.7%]

力を入れたい学習

- 日常生活の問題を解決するために、「一つ分の大きさ」「いくつ分」「いくつ分かに当たる大きさ」を捉えて式に表したり、式の意味を説明したりする活動を習慣付ける。また、問題場面の数量の関係に着目して簡潔に図や式で表すとともに、式を読み取ったり、正しく計算したりする活動を習慣付ける。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、未知の数量を求めることができるようにするために、二つの数量のデータを表に整理し、比例の関係等を見いだす活動を設定する。その際は、一方の数量のみに着目するのではなく、二つの数量がどのように変わっているかに着目させるようにする。
- 得られた結論について、得られた結論の意味や妥当性、問題解決の各段階が適切であったかについて、振り返って考え直す活動を取り入れる。

小学校の傾向と課題



領域別では、「粒子」を柱とする領域が全国平均と同程度といえますが、「エネルギー」「生命」「地球」において全国平均を下回っており、大きな課題となっています。

問題形式別では、「短答式」が全国平均を上回ったものの、「選択式」「記述式」では下回り、課題が見られます。特に「記述式」では、全国平均を100とした場合、香取市が86.9となる結果でした。

課題が見られた主な問題

● 理科1(2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く 【「生命」を柱とする領域、記述式】 [香取市 61.4% 千葉県(公立)67.2% 全国(公立)67.5%]
● 理科2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く 【「粒子」を柱とする領域、記述式】 [香取市 29.4% 千葉県(公立)36.8% 全国(公立)39.3%]
● 理科4(2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ 【「地球」を柱とする領域、記述式】 [香取市 54.4% 千葉県(公立)61.5% 全国(公立)64.5%]

力を入れたい学習

- 結果をもとにして結論を導き出す際に、記録の整理の仕方を工夫し、互いの結果を比較する中で他者の考えを受け、様々な視点から自分の考えの妥当性を検討するような学習活動を取り入れる。
- 自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気づきをとらえ、主に差異点や共通点をもとに問題を見いだす場面を設定する。
- 問題に対して根拠のある予想や仮説を発想し、自分の考えだけでなく他者の予想が確かめられた場合の結果を見通して、それをもとに解決の方法を発想する学習活動を取り入れる。